

## 児童生徒支援部

### 1 児童生徒支援部の活動について

#### (1) 保健・安全

本校の保健活動や安全計画などに関する分野を担当し、年間の学校保健計画・学校安全計画を作成し、各分教室で実施している。『児童生徒の健康生活の基本的習慣の育成に努め、保護者や病院その他関係機関との連携を密にしながら、主体的な保健活動の進展を図る』ことを本校の学校保健目標に定め、各病院や学校医等と協力し様々な取り組みを行っている。学校安全計画において、各分教室において実施方法は異なるが、避難訓練や防災・防犯学習を実施する。危機管理マニュアルや感染症対策マニュアル、災害時の緊急体制の作成・確認・周知を行う。

#### (2) 生活支援

各部署の実態に応じて児童生徒会及び学校行事等の運営を行っている。芸術鑑賞会とWeb遠足を全校行事として、部署が離れている当校の実態に合わせ、オンライン中継で実施している（今年度は、芸術鑑賞会はしていない）。また、今年度より新しくWeb音楽会を全校行事として実施している。

いじめを許さない意識を育成すると共に、いじめ事案発生時は人権教育推進委員会と協力の下、いじめ対策委員会を中心とした児童生徒への対応、関係機関との情報共有、府教委への報告等、組織的に対応している。生徒指導に関する研修や協議会へ参加し必要に応じて伝達講習も行っている。

### 2 健康診断

本校訪問教育部と大阪精神医療センター分教室は養護教諭が常駐しており、大阪精神医療センター分教室では四測定(身長・体重・視力・聴力)以外にも内科・耳鼻科・眼科・歯科検診・検尿・心臓健診を行っている。大阪大学医学部附属病院分教室・関西医科大学総合医療センター分教室・関西医科大学附属病院分教室では在籍期間が短い児童生徒が比較的多いため、例年1学期の始めに四測定のみ実施している。

大阪精神医療センター分教室では不登校などの理由で地域校での受診ができていないケースも多く、例年2学期の内科・耳鼻科・眼科・歯科検診を学期始めの9月から11月にずらし、少しでも多くの児童生徒に健康診断を受ける機会を設ける工夫をしている。

### 3 感染症対策

本校訪問教育部をはじめ、大阪大学医学部附属病院分教室や関西医科大学附属病院分教室では免疫抑制剤やステロイドの使用による免疫力低下の児童生徒が多い。このため、感染予防には特に力を入れている。

当校では「感染症対策マニュアル」を作成し、追加・改訂の必要が生じた場合には協議したうえでその都度改訂を行っている。平時から手洗いの徹底・うがいの励行を実施するとともに、教職員自身の日々の体調管理や感染症対策を心がけている。また感染症発生時には病院報告や他部署への連絡等情報を共有することにより、教員が感染症の媒介者にならないよう注意喚起を行っている。

「感染症対策マニュアル」では学校保健安全法による出席停止にあたる感染症のうち感染のケースが多い第二種の感染症以外にもアデノウイルス（流行性角結膜炎・プール熱）やウイルス性感染性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルス）・手足口病や溶連菌感染症・アタマジラミ症・帯状疱疹・RSウイルス感染症・MRSA感染症など本学校で発生したケースも

## I 校務分掌

含め対応をマニュアル化している。また、このマニュアルでの対策を基にはしているが、各病院の感染制御部等の感染症対策の窓口がある場合には指示を優先し対応している。令和7年度感染症発生件数（令和7年12月末時点）は17件（児童生徒12件、教職員5件）報告されている。新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、百日咳があった。

当校の教員は麻疹（はしか）・風疹・ムンプス（おたふくかぜ）・水痘（水ぼうそう）の抗体を持っていることを前提としている。以前おたふくかぜの流行を受けムンプス（おたふくかぜ）の抗体数の提示を求める病院があった。可能な限り関係教員の抗体数の把握に努めている。また任意ではあるがインフルエンザ予防のワクチン接種を適宜行っている。

最後に、教員自身の感染、教員が感染症の媒介者とならないことを常に念頭に置き、マスクの着用、手洗い、手指の消毒、日々の消毒作業等、一人ひとりが日常できることを可能な限り継続していくことが「感染症への対応と共存」の第一歩かと思われる。

感染症に関する動向や留意事項を踏まえ、病棟との連携を密にとった上で各部署の実情に応じた対応を今後も検討し、児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるように取り組んでいきたい。

### 4 防災計画

部署ごとに教育環境が異なるため、分教室ごとに防犯・防災計画等を作成している。「大災害時の行動マニュアル」（学校保健安全について）を、フローチャート形式で分かりやすくしたものを策定し教員に周知徹底している。また、危機管理マニュアルの非常時優先業務（BCP）では本校訪問教育部が病院施設内にあるため（地域の避難場所には指定されていない）、大災害発生時に予想される業務を追加している。施設利用としては、「感染症隔離スペース」「外部避難者等使用スペース」「乳幼児優先スペース」等を想定している。

### 5 避難訓練

各部署の実態に応じ火災や地震に対応した避難訓練を行っている。本校訪問教育部は職員のみ、大阪精神医療センター分教室では児童生徒も校舎外まで避難する避難訓練を行っている。大阪大学医学部附属病院分教室、関西医科大学総合医療センター分教室、関西医科大学附属病院分教室の児童生徒は点滴をつけたり、車いすで授業を受けたりすることも多く、屋外までの避難誘導の訓練を行うのは難しいため、避難経路の確認を中心に火災や地震の時の取るべき行動などを防災学習という形で実施している。

避難訓練には自主訓練と消防署員指導下の訓練とがあり、各部署が毎年必要に応じて訓練内容を検討している。

### 6 災害時の備蓄

現在（令和8年1月）、各部署で最低1日分の食糧と飲料水は確保できている。個人での備蓄を推奨されているが、上記4にある通り、当校は病院内の施設であるため、校長裁量予算等で水・食料・薬品等を引き続き要望していく。今年度、一部備蓄食で賞味期限を迎えたものがあったが、防災教育などの機会を通し、防災食についての学習を行った。ただし、支援学校の特性上、防災食を喫食する学習は行っていない。

### 7 学校保健委員会

学校保健委員会は管理職・児童生徒支援部首席・養護教諭・学校医・学校歯科医・学校薬剤師の役員で構成され、年一度開催している。

今年度は「宮田教頭先生から教員に対するミニ防災研修」の発表をした。また、最近の感染症の流行や最新の治療薬についてなど、学校医・学校薬剤師より貴重なご助言やご意

## I 校務分掌

見等をいただいた。

### 8 生活支援に関する主たる業務内容

- (1) 各部署の行事にかかわる取組みや全校行事の計画・運営
- (2) 生徒指導に関する研修や協議会への参加とその内容の周知
- (3) 学校いじめ防止基本方針に基づいた防止及び対応の取組み
- (4) 人権教育の推進及び人権尊重の学校づくり（人権教育推進委員会と協力）
- (5) 学校経営推進費活用事業の計画・運営（情報支援部と協力）【今年度より】

### 9 生活支援に関する今年度の主な取組み

全校行事として、Web 遠足（1回）、Web 音楽会（1回）をオンラインで実施した。

Web 遠足は、昨年度同様、天王寺動物園で実施した。夏季休業中に、次年度へ向けての下見を行った（くるくるプラザ）。

Web 音楽会は、情報支援部・音楽科と連携して行った。各分教室での音楽の授業で撮影した動画を編集したものを、Google ドライブに公開して鑑賞をした。

今年度の芸術鑑賞会については、「山本能楽堂」「クラシックコンサート」に申し込みを行ったが、どちらも落選となったため開催できなかった。次年度の芸術鑑賞会に向けては、文化庁の「令和8年度 舞台芸術等総合支援事業」に申し込みを行った。

学校経営推進費の活用を全校的に進めるため、情報支援部と連携し、アバターロボットやメタバースの使用例等について各部署に周知した。

### 10 生活支援にかかる活動の成果と課題

Web 遠足では、遠隔でカメラを動かすことのできる「kubi」を活用することで、動物をより近い場所から撮影し臨場感のある鑑賞ができた。また、昨年度はカバの様子を生中継しようとしたが、長時間水中にもぐってしまったため、なかなか見ることができなかったという反省を受けて、確実に見ることができるとして、キリンを鑑賞することとした。下見の際に電波状況の確認を行っていたため、通信環境についても大きなトラブルなく実施することができた。

Web 音楽会では、普段は関りの持てない他の分教室の様子や授業の一場面を、音楽や映像を通して知ることができ、楽しんで鑑賞していた児童生徒が多かった。動画を通しそれぞれの分教室の特色を感じることができた。また、動画の保管・公開に関しては、Web 音楽会専用の Google アカウントと動画共有サービスのチャンネルを作成して行った。

芸術鑑賞会の候補団体について分掌会議で話し合い、複数の団体に問い合わせを行ったが、スケジュールや金銭的な都合で、依頼には至らなかった。「山本能楽堂」の希望申し込みについて、今年度はそれぞれの部署で希望のコースを検討し、申し込みを行った（これまでは、特定の部署で開催することが多かった）。次年度以降も、どの部署の児童生徒にも生の芸術を体験できる機会を増やせるよう進めていく。また、昨年は生中継で芸術鑑賞会を行ったが、電波状況が原因で音声や映像が途切れるという反省が出た。配信方法の在り方についても今後検討していく必要がある。